

出 会

い

き

い

き

ふるさと

凶

鑑



目指すはシリーズチャンピオン！

上厚真 木戸 和政 さん (39歳)



8月5日、十勝管内陸別サーキットで行われた、2007北海道ATV（四輪バギー）チャンピオンシップ第6戦200ノーマルクラスで優勝を飾った木戸さん。

「四輪バギーは10年くらい前から始めたんだよ。エンジンのついていていけるものでも好きな性分だね」平日はダンブ、休日はバギーのハンドルを握る。

四輪バギーやキャンプなどアウトドアを楽しむことを目的に設立されたサークル「B・i・s・t・y・l・e」の代表を務める木戸さん。「会員は町内をはじめ、むかわや苫小牧など22人で活動しています。仲間たちと練習後や遠征先へ出かける車中でワイワイ語り合うのが楽しみの一つなんだよね」と笑顔を見せる。

昨年完成した浜厚真にあるバギー専用サーキット「浜厚真オフロードパーク」は仲間たちでお金



浜厚真のコースを駆け抜ける木戸さん

を出しあい、手づくりで3カ月の期間をかけて作ったコース。

「腕の差がはつきりと出るテクニカルなコースが自慢。1周1・7キロあり、日本にあるコースの中でも長い方なのも特長かな。コースを作るにあたって町内の地主さんが無償で貸してくれたんですよ。すごく感謝しています」。

「今年の目標はシリーズチャンピオンになること。今は総合2位だからあと2戦で逆転したいんですよ。夢は、バギーの愛好者が増えて、厚真からモータースポーツの醍醐味をもっと発信していくこと」と言葉に力が入る。

大学一年生と中学三年生の息子さんを持つ父親でもある木戸さん。「子どもたちも一緒にバギーに乗ることもあるんですよ。かみさんには、いろいろな負担をかけているけど、好きなようにやらせてくれてありがたく思っているよ」と家族思いの大黒柱でもある。

私の大切な家族

ドン太 ♂ 6歳 (犬・ダックスフント)

京町 村田 福松 さん家族



ボールをくわえるドン太と村田さんご夫妻

ドン太は、京町保育園児の誰もが知っている人気者。ドン太も小さい子どもが大好き！「京町公園で散歩をしている時、子どもたちと会うと帰るって言わなくなるんだよ」と旦那さん。この種類にしては大きく成長したドン太は、お尻をフリフリさせて歩く姿がかわいいのも子どもたちに好かれるゆえんだ。

特技は、ボール拾いとペットボトルのキャップ開け。旦那さんが投げたボールは必ず走って拾いに行き、奥さんの順子さんが与えたペットボトルは、前足で押さえ口でキャップを上手に開けてみせる。

隣町でタクシーの運転手をしている旦那さんと町内で飲食店を開いている奥さんの帰宅は深夜。「私たちの帰ってくる気配がわかるみたいで、玄関で迎えてくれるんです」とドン太に目を細める村田さん夫妻だ。

本

私の出会った素敵な本

「メリーゴーランド」

荻原 浩/作

新町 奈良 智法 さん

町教育委員会が行っている埋蔵文化財発掘事業の調査員として、厚真の歴史を紐解く奈良さん。小説をよく読むようになったのは、7年ほど前の20代中ごろからだという。「発掘関係の専門書は必然的に読んでいましたが、小説の類は、それまではまったくと言っていいほど読んだことがなかったですね」。

何気なく読んだ井上靖の「氷壁」が奈良さんの何かに火を付けた。「気に入った作者の書いたものは、すべて読みたくなる性質なのかもしれないですね。井上靖さんをはじめ山崎豊子さん、サスペンス作家の東野圭吾さんなどの作品は読みきりましたよ」。

紹介してくれた本を書いた作者も今お気に入りの一人だという。「この小説は、日本で働くすべての勤め人へのメッセージが書いてあるような気がしますね」と話す東京タワーの作者、リリー・フランキー似の奈良さんだ。

